

ナシのナミハダニに対する薬剤感受性検定結果

病害虫防除所

川西健児

ナシに寄生するナミハダニに対する薬剤感受性検定を実施した結果、死亡率が高かった農薬は、ダニゲッターフロアブル、スターマイトフロアブル及びダニコングフロアブルであることがわかりました。

ナミハダニは、薬剤に対して抵抗性を獲得する性質があることから、殺ダニ剤を散布してもハダニが減らないという現象がたびたび起こります。

今回、観音寺市豊浜町のナシ産地内の5園地において、葉に寄生しているナミハダニを採集して、ナシに登録のある19薬剤に対する感受性検定を実施し、死亡率が高く効果の高い薬剤の探索をしました。

検定方法は、リーフディスク法を用いました。具体的には、雌成虫にナシ葉片に2日間産卵させ、卵の付いている葉片を所定濃度の薬液に浸漬して、その後、「孵化してくるかどうか」「孵化した幼虫が生きているかどうか」を調査し、死亡率を算出しました。

表 ナミハダニ薬剤感受性検定結果

IRAC コード	供試薬剤	希釈 倍数	薬剤処理5日後の死亡率(%)					平均値
			園地①	園地②	園地③	園地④	園地⑤	
1B	マラソン乳剤	2,000倍	5.6		1.2	2.0		2.9
3A	ロディー水和剤	1,000倍	61.3		56.6	38.3	28.7	46.2
	テルスター水和剤	1,000倍	95.3		74.8	69.5	63.1	75.7
	アーデント水和剤	1,000倍	76.6	30.6	41.2	52.2	15.3	43.2
6	コロマイト乳剤	1,000倍	61.6	78.0	66.6	27.2	35.5	53.8
		1,500倍	2.4	75.0		6.7		28.0
10A	ニッソラン水和剤	2,000倍	1.1	0.0	3.4	1.4	0.0	1.2
		3,000倍	1.4	0.0				0.7
10B	バロックフロアブル	2,000倍	2.3	0.0	0.0	0.7	0.2	0.6
12D	テデオン乳剤	500倍	91.8		92.0	40.2	86.2	77.5
		1,000倍	93.3		67.2	56.0	74.4	72.7
13	コテツフロアブル	2,000倍	87.0	96.5	93.7	61.4	96.3	87.0
		3,000倍	44.8	45.4		57.7	34.6	45.6
15	カスケード乳剤	2,000倍	0.0	1.6	4.6	0.7	0.0	1.4
20B	カネマイトフロアブル	1,000倍	71.0	87.4	35.8	26.1	38.1	51.7
		1,500倍	57.6	36.1		4.3	25.4	30.8
20D	マイトコーネフロアブル	1,000倍	8.9	5.1	31.1	1.4	6.3	10.6
		1,500倍	4.7					4.7
21A	サンマイト水和剤	1,000倍	1.2	0.0	0.3	4.0	1.4	1.4
		1,500倍	1.1	0.2				0.7
	ダニトロンフロアブル	1,000倍	3.3	0.1	3.4	1.3	0.0	1.6
		2,000倍	2.4	0.0				1.2
23	モベントフロアブル	2,000倍	99.4	94.1	86.8	88.8	98.7	93.6
	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
25A	スターマイトフロアブル	2,000倍	100.0	98.6	100.0	99.3	100.0	99.6
	ダニサラバフロアブル	1,000倍	16.6	2.8	0.0	14.0	0.7	6.8
		2,000倍	5.3	1.0				3.2
25B	ダニコングフロアブル	2,000倍	100.0	100.0	98.2	92.9	100.0	98.2
	無処理区(展着剤のみ)	-	0.0 ~1.9	2.8 ~6.7	0.6 ~3.8	0.0 ~0.7	0.0 ~2.5	1.5